

令和 8 年第 3 回半田市議会臨時会 会期日程（案）

目次	月 日	曜日	会 議	開議時刻	摘 要
1	5月18日	月	本会議 (委員会) (議 運)	9:30	開会 会議録署名議員の指名について 報告について 会期の決定について 議案上程、質疑、委員会付託 〔議案審査〕 予算→総務 〔討論通告締切 委員会審査終了10分後〕 委員長報告、質疑、討論、採決 常任委員会の中間報告について 特別委員会の報告について
2	5月19日	火	本会議	9:30	(日程追加) 議長の選挙について (日程追加) 副議長の選挙について 半田市監査委員の選任について 常任委員会委員の選任について 議会運営委員会委員の選任について 政治倫理審査会委員の選任について 組合議会議員の選挙について 閉会

議会運営委員会（告示日）	5月11日（月）午前10時00分
全員協議会	5月11日（月）午後1時30分
議会運営委員会（役選調整）	5月15日（金）午前10時00分
所信表明の会	5月15日（金）議会運営委員会終了後
議会運営委員会（役選調整）	5月15日（金）所信表明の会終了後
議会運営委員会	5月18日（月）委員会審査終了15分後

令和8年第3回半田市議会臨時会 議事日程（第 号）

令和8年5月 日（ ） 午前 時 分 開会

日程	議案番号	議 案 題 名	付 託 委員会	審議結果
1		会議録署名議員の指名について		
2		報告について		
3		会期の決定について		
4	報告7	専決処分の報告について（半田乙川中部土地区画整理事業における損害賠償の額の決定）		
5	報告8	専決処分の報告について（公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定）		
6	報告9	半田市土地開発公社の経営状況について		
7	承認2	専決処分の承認について（半田市市税条例及び半田市都市計画税条例の一部改正）		
8	承認3	専決処分の承認について（半田市国民健康保険税条例等の一部改正）		
9	40	令和8年度半田市一般会計補正予算第1号	予算	
10	41	半田市行政手続条例の一部改正について	総務	
11	42	半田市市税条例の一部改正について	総務	
12		常任委員会の中間報告について		
13		特別委員会の報告について		
14		〔日程追加〕 議長の辞職について 議長の選挙について		
15		〔日程追加〕 副議長の辞職について 副議長の選挙について		
16	43	半田市監査委員の選任について		
17		常任委員会委員の選任について		
18		議会運営委員会委員の選任について		

日程	議案番号	議 案 題 名	付 託 委員会	審議結果
19		政治倫理審査会委員の選任について		
20		中部知多衛生組合議会議員の選挙について		
21		知多中部広域事務組合議会議員の選挙について		
22		半田常滑看護専門学校管理組合議会議員の選挙について		
23		知多南部広域環境組合議会議員の選挙について		

常任委員会委員 会派別割振

	総務委員会			文教厚生委員会			建設産業委員会			計	予算委員会			決算委員会		
	正	副	委員	正	副	委員	正	副	委員		正	副	委員	正	副	委員
創造みらい半田										12名						
公明党										3名						
つなぐ未来										2名						
チャレンジはんだ										2名						
無所属										3名						
計	1名	1名	6名	1名	1名	5名	1名	1名	5名	22名	1名	1名	20名	1名	1名	20名

常任委員会委員

総務委員会（定数8名）

文教厚生委員会（定数7名）

建設産業委員会（定数7名）

予算委員会（定数22名）

決算委員会（定数22名）

議会運営委員会委員 会派別割振

会派名	会派人数	正	副	委員	備考
創造みらい半田	12名				
公明党	3名				
つなぐ未来	2名				
チャレンジはんだ	2名				
計	19名	1名	1名	4名 (6名)	

※定数は9名

※3名以上の会派から3名毎に1名選出。

※委員長会派からは、更に1名の委員を選出。

※定員以内であれば、議長推薦委員を選出できる。()内は議長推薦枠を選出した場合の人数。

議会運営委員会委員

議会運営委員会 (名)

政治倫理審査会委員 会派別割振

会 派 名	会派人数	正	副	委 員	備 考
創造みらい半田	12名				
公明党	3名				
つなぐ未来	2名				
チャレンジはんだ	2名				
計	19名	1名	1名	4名 (6名)	

※定数は9名

※3名以上の会派から3名毎に1名選出。

※委員長会派からは、更に1名の委員を選出。

※定員以内であれば、議長推薦委員を選出できる。()内は議長推薦枠を選出した場合の人数。

政治倫理審査会委員

政治倫理審査会(名)

広報誌編集・P R・I C T推進委員会委員 会派別割振

	議会広報誌 編集委員会			議会P R委員会			議会I C T 推進委員会			計
	正	副	委員	正	副	委員	正	副	委員	
創造みらい半田										12名
公明党										3名
つなぐ未来										2名
チャレンジはんだ										2名
無所属										3名
計	1名	1名	名	1名	1名	5名	1名	1名	名	22名

※議会P R委員会には、3名以下の会派から1名を、4名以上の会派からは2名を選出し、委員長会派からはさらに1名、無所属議員から1名を選出する。

※議長、副議長、監査委員、議会P R委員会委員を除いた議員は、議会広報編集委員会または議会I C T推進委員会のどちらかに所属する。

広報誌編集・P R・I C T推進委員会委員

議会広報誌編集委員会（ 名）

議会P R委員会（7名）

議会I C T推進委員会（ 名）

政務活動費管理委員会委員 会派別割振

会 派 名	会派人数	正	副	委 員	備 考
創造みらい半田	12名				
公明党	3名				
つなぐ未来	2名				
チャレンジはんだ	2名				
計	19名	1名	1名	1名 (3名)	

※ 3名以上の会派から1名の委員を選出。

※ 委員長所属会派からは、更に1名の委員を選出。

※ 議長推薦委員を選出できる。()内は議長推薦枠を選出した場合の人数。

政務活動費管理委員会委員

政務活動費管理委員会(名)

組合議会議員 会派別割振

会 派 名	中部知多衛生 組合議会	知多中部広域 事務組合議会	半田常滑看護 専門学校管理 組合議会	知多南部広域 環境組合	愛知県後期高 齢者医療広域 連合議会
創造みらい半田					
公 明 党					
つなぐ未来					
チャレンジはんだ					
選出議員計	2名	3名	1名	1名	1名
充 て 職	議長 副議長 建設産業委員	議長 副議長 総務委員	議長 副議長 文教厚生委員	議長 建設産業委員	副議長
合 計	5名	6名	4名	3名	1名

【参考】

	会派人数(A)	割振議員(C)	議員定数(D)	$(A-B) \times C \div D$
創造みらい半田	12	7	20	4.20
公明党	3	7	20	1.05
つなぐ未来	2	7	20	0.70
チャレンジはんだ	2	7	20	0.70
無所属	1	7	20	0.35
無所属	1	7	20	0.35
無所属	1	7	20	0.35

※議員定数は、議長及び副議長を除く

■平成25年5月8日 議会運営委員会決定事項

1. 告示日（臨時会一週間前）

議会運営委員会：正副議長、議会選出監査委員について協議する。

2. 臨時会前日

議会運営委員会1：議長候補者を表明する。

所信表明の会：議会運営委員会終了後に議長候補者の所信表明の会を開催する。

※確認事項

- ①全員協議会の形で全員協議会室において開催する。
- ②進行取り回しは、議会運営委員会委員長が行う。
- ③順番は議席番号順に候補者がくじを引き決定する。
- ④候補者は必ず所信表明を行う。
- ⑤所信表明者席を設置する。
- ⑥所信表明演説の時間は1人5分以内とする。
- ⑦所信表明に対する質問はできない。

議会運営委員会2：所信表明の会開催後に議会運営委員会を開催する。

正副議長、委員会等の割振りについて、協議、調整する。

■平成20年11月6日議会運営委員会確認等事項（抜粋）

1. 議長は所信表明を行うが副議長は行わない。
2. 公職選挙法が一部適用されるので立候補制ではない。投票の際、所信表明した議員以外の氏名が書かれても有効となる。
ただし、所信表明した以外の議員の氏名を書くことは、半田市議会のルール(紳士協定)に違反し所信表明する意味がなくなるため、所信表明しない議員への投票は避ける。
3. 臨時議会前日の議会運営委員会開会直後に正副議長候補者の名前を挙げ、候補者の最終決定とする。
4. 辞退については、議会運営委員会委員長に報告する。委員長は速やかに委員に文書で通知する。
5. 所信表明の会は全員協議会の形で行い、全議員出席とする。

令和8年 議会役員改選関係日程(案)

	月 日	開会時刻	区 分	摘 要
1	5月11日(月)	10:00	議会運営協議会	役選等について確認する。
2	5月12日(火)			
3	5月13日(水)			
4	5月14日(木)			
5	5月15日(金)	10:00	議会運営委員会	議長候補者を表明する。
		10:15 (予定)	所信表明の会	議長候補者の「所信表明の会」を開催する。 【確認事項】 ①全員協議会の形で全員協議会室において開催する。 ②「所信表明の会」進行取り回しは、議会運営委員会長が行う。 ③順番は議席番号順に候補者がくじを引き決定する。 ④候補者は必ず所信表明を行う。 ⑤所信表明者席を設置する。 ⑥所信表明演説の時間は1人5分以内とする。 ⑦所信表明に対する質問はできない。
		所信表明 終了後	議会運営委員会	正副議長、委員会等会派割振りについて、調整を行う。
6	5月16日(土)			
7	5月17日(日)			
8	5月18日(月)	9:30	臨時会(本会議)	議案審議、委員会報告等
9	5月19日(火)	9:30	臨時会(本会議)	正副議長選挙(投票または指名推選)、委員等選任

3月定例会の振り返り

	項目別	課 題	対 策
1	予算委員会	当初予算案の本会議における提案説明を簡素化することはできないか。	当局との調整が必要。 会議規則第36条「提出者の説明を聴き」と規定されていることから省略はできない。 議場で口に出して説明することが議会の基本理念。
2	予算委員会	予算委員会分科会に分割送付するためだけの予算委員会が必要か。	分科会は、予算委員会の下に審査のために設置するものであり、予算委員会の決定なしでは分科会は開催できない。 分科会前の予算委員会開催は必要。
3	予算委員会	ボリュームが少ない補正予算も分科会に送付するか。予算委員会で審査することはできないか。	予算委員会で審査することは可能。ただし、分割送付する議案としない議案の線引きが必要。 原則、補正予算は分割送付しない、ただし議運で諮る。
4	予算委員会	予算委員会分科会における所管外委員の発言について、質疑中でも答弁中でも、残り時間0秒で発言を中断するか。	質疑は答弁時間（30秒）を残して終わる。 一般質問と同様に残り30秒を過ぎたら答えない。
5	予算委員会	予算委員会を全員で行う目的は何だったか。分科会は以前の分割付託したときの様子と変わらない。分科会で自分の会派の委員がいるいないにかかわらず、質疑できるとよいのではないか。	会派の委員に頼んで質疑してもらおう。
6	予算委員会	所管外委員の1分科会に15分の予算質疑はあまりにも短い。聞いておかななくてはいけない事業への質疑ができない。1回目の質疑を通告制にしてもいいので、時間制限を廃止するべき。	時間15分はそのままとする。 多く質問をしたければ各議員が担当課等と事前調整する。
7	予算委員会	予算委員会を全員ですることから、委員長報告を廃止したが、分科会に全議員がいるわけではなく、予算を採決する前にどのような質疑があったのかは、議員も、市民も分からなくなってしまった。委員長報告は本会議場にてすべきではないか。	委員長報告の目的は、議員の採決の判断材料の提供。市民や当局への報告ではない。議員は分科会に出席または出席議員に聞いてもらう。広報用としては、委員会のオンライン配信・録画配信を進めている。
8	予算委員会	分科会で予算審査を行っている一方で、予算委員会内では委員長報告が行われない。しかし、議会だよりの執筆は必要であることから、結果として担当書記の負担が増えているのではないか。委員長報告を簡潔な形でも予算委員会内で行えば、議会だよりの原稿作成にあたり、担当書記の手を煩わせることも少なくなるのではないか。	短時間で委員長報告を作成しなくなった点で事務局の負担は減。
9	日程	予算委員会総括質疑は代表質問の内容と重複し、代表質問で取り上げる内容が総括質疑で先に扱われてしまったため、日程を入れ替えることを検討してはどうか。	代表質問では市政全般、予算委員会総括質疑では予算に関することと認識してもらえば、今後はバランスよくいけるのでは。
10	日程	代表質問のスケジュールが予算の総括質疑の後になっていることから、総括質疑が行いづらい状況があるように感じた。	
11	日程	予算委員会が終了してから採決まで日程があるため、すぐに採決することを考えてもよいのではないか。	日程は検討の余地あり。次年度へ申し送る。
12	日程	学校の卒業式について、今回の日程なら出席が出来た。来年以降の出欠席を改めて考える必要がある。	所属委員会によって出席の可・不可はかがなものか。従来に戻す。（卒業式に本会議・委員会を実施しない。）
13	日程	予算審査が前半に来ることで、精読時間が短くなった。	感想にとどめる。
14	日程	予算委員会での採決から、代表質問、一般質問までの日程がとてつもない（13日間）。 当局の答弁作成などの時間が必要かもしれないが、もう少し、短くなるのではないか。	通告にかかる日程、答弁書作成期間などを考慮すると8開庁日は必要で、短縮は困難。（他の定例会と同じ日数）

15	日程	代表質問・一般質問が会期の後半に設定されたことで、議会だよりの原稿締切までの期間が短くなり、原稿を丁寧に執筆する時間を十分に確保しにくい。	短期間で作成できるように努める。
16	日程	代表質問や一般質問を行うまでのタイトなスケジュールが解消され、準備等が余裕を持って出来た。	
17	日程	職員も質問の答弁の作成に関し、余裕を持てたと聞いている。	
18	日程	一般質問の内容が、予算の質問と被るといけないという制約が無くなり、質問がやり易かった。	
19	日程	全体的にゆとりがある日程だったので、来年もこの日程で良いのではないか。	
20	総括質疑 代表質問	代表質問と総括質疑の意味合い、棲み分けなどを考えないといけない。	項番9、10と同様
21	代表質問	代表質問の事前調整のあり方。 ・部長とするのか、課長とするのか。 ・事前調整した部課長とヒアリングにくる部長が異なるのは問題ないか。	代表質問の対象が市長施政方針から市政全般に変わったことによる。当局との協議必要。(継続的に協議)
22	代表質問	現在できていない点に着目し、質問内容が最初から提案型に偏ることはいかなものか。まずは実施している事業に対して会派の考えをぶつけて議論し、その上での提案が出てくるのが望ましいのではないか。	意見として参考。
23	代表質問	代表質問を市政全般にしたが、市長施政方針に対しての質問が多かった。	感想にとどめる。 今後、各会派が考えていく。
24	総括質疑 代表質問	代表質問と内容が被るため、総括質疑が出来ないと勘違いしている議員がいた。	

議会事業評価の手引き（案）

1. 議会事業評価は、原則、総務委員会、文教厚生委員会、建設産業委員会がそれぞれ3事業程度を選定し、評価を実施する。
2. 事業選定にあたっては、各委員が対象としたい事業をあらかじめ選定し委員会で提案する。閉会中の調査テーマと併せて委員会で協議し、概ね6月末までに決定する。事業選定においては、正副委員長は事前に担当部課長に聞き取りを行い精査しておく。
3. 委員会は、対象事業が決定したら、観点別評価の項目について調査し考えをまとめる。必要に応じて勉強会を開催し、対象事業に対する理解を深める。
4. 観点別評価の各項目を参考に、委員会で各事業の評価を行う。
5. 議会事業評価結果表の「評価」欄及び「方向性」欄については、【注釈：評価及び方向性の考え方】から決める。
6. 主要事業評価シートのP D C Aは、一連のものであるが、当該事業評価にあたっては、A「課題解決に向けた今後の方向性」を主眼に評価を行う。
7. 議会事業評価結果表の「提言」欄には、何をどうしたらよいかが伝わるように、具体的かつ端的に記載する。
8. 議会事業評価結果表の「理由」欄には、評価の経緯、提言の趣旨、提言の理由など、具体的に記載する。書ききれない場合は、欄を縦に広げてよい。
9. 評価結果をまとめる段階で、正副委員長は担当部課長と調整を図る。
10. 各委員会で評価実施後、正副委員長連絡会議を開催し、内容確認及び文言の統一を図る。正副委員長連絡会議には、正副議長と各委員会の正副委員長が出席する。
11. 各委員会の評価結果が完成しだい、議員総会において常任委員会委員長が評価結果を報告する。
12. 正副議長と各委員会の正副委員長が、当局に対し事業評価結果を報告する。

【注釈：評価及び方向性の考え方】

評 価	考 え 方
おおむね適正である	事業が適正に実施されている
問題がある	事業の目的が達成できていない

方 向 性	考 え 方
拡充する	事業対象や実施手法、予算規模を拡充する
現状維持する	現状どおり進める
合理化する	規模縮小や統廃合を含め、事業対象や実施手法、予算規模を見直し、合理化する
廃止する	事業の休止又は廃止を検討する

令和8年5月11日

議員各位

市議会事務局

慶弔会計収支報告書について(令和7年5月1日～令和8年4月30日分)

下記のとおり収支報告いたします。

(収入)

月日	金額(円)	摘要
令和7年5月1日	160,008	前期より繰越金
合計	160,008	

(支出)

月日	金額(円)	摘要
令和7年9月30日	30,000	國弘秀之議員実母 弔慰金
合計	30,000	

収入合計 支出合計 差引残金
160,008円 - 30,000円 = 130,008円

資料14

常任委員会・特別委員会等分担表（令和8年5月18日から）

委員会	担当
総務委員会	新美里恵
文教厚生委員会	近藤千大
建設産業委員会	山富颯也
予算委員会	尾中 淳
決算委員会	尾中 淳
議会運営委員会	杉浦郁夫
政治倫理審査会	杉浦郁夫
特別委員会	—
特別委員会	—

委員会	担当
議会広報誌編集委員会	長谷川信和
議会PR委員会	山富颯也
議会ICT推進委員会	近藤千大
政務活動費管理委員会	山富颯也
委員長連絡会議	新美里恵
全員協議会	尾中 淳
予算説明会	尾中 淳
議員総会	尾中淳
各派代表者会議	新美里恵

会派担当	
創造みらい半田	尾中 淳
公明党	新美里恵
つなぐ未来	山富颯也
チャレンジはんだ	近藤千大
無所属議員担当	長谷川信和